

世界初*1！iVDR-S*2に録画したハイビジョン番組をパソコンで編集可能に！
 ～デジタル録画に最適なカートリッジソリューションをもっと便利に～

株式会社アイ・オー・データ機器(本社:石川県金沢市、代表取締役社長:細野 昭雄、以下、アイ・オー・データ)は、現在販売中の iVDR-S 対応アダプター「RHDM-US/EX」用サポートソフトの新バージョン「iVDR-S Media Server 3」を開発しました。株式会社ペガシス(本社:東京都墨田区、代表取締役 CEO:海老根 崇、以下、ペガシス)が開発中の動画編集ソフトウェア「TMPGEnc MPEG Smart Renderer 4」*3 (ティーエムピージーエンク・エムペグスマートレンダラー4)とこれらを組み合わせることで、iVDR-S に録画した著作権保護付き番組のパソコンでのカット編集を世界で初めて可能としました。

アイ・オー・データは、コンテンツ利用における家電とパソコンの垣根を払拭する利便性の高い商品として、iVDR-S を用いたカートリッジソリューションを幅広いユーザーに訴求してまいります。

販売中の【「RHDM-US/EX」外観】



製品型番	RHDM-US/EX
製品概要	iVDR-S 対応アダプター
標準価格	4,700 円(税別)

※iVDR-S メディア「RMS シリーズ」や
 動画編集ソフト「TMPGEnc MPEG Smart Renderer 4」は別売です。

「iVDR-S Media Server 3」は、「RHDM-US/EX」ユーザーに7月上旬に無償提供を予定しています。

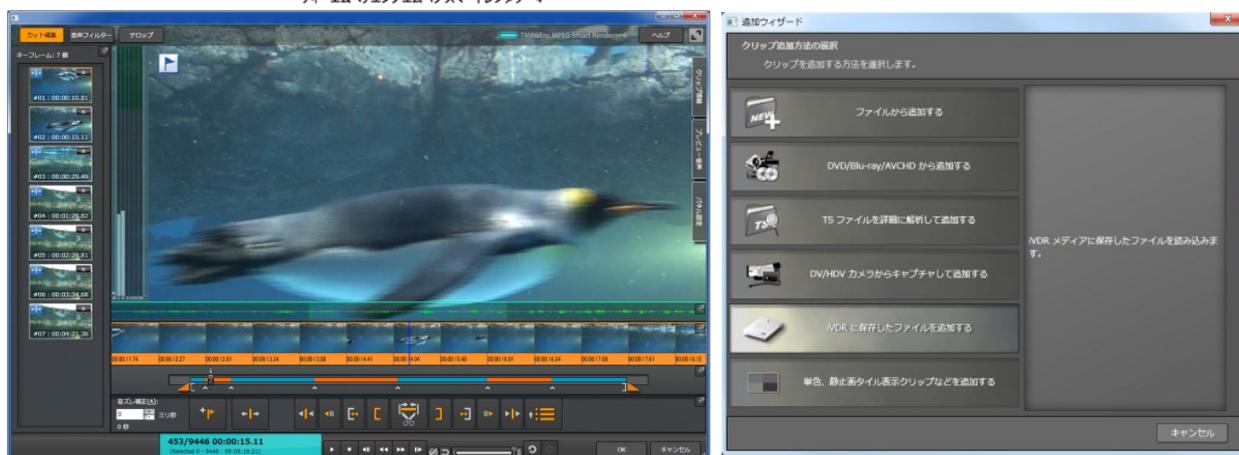
■「RHDM-US/EX」の新機能について

【その1：iVDR-S の録画番組をパソコンで動画編集】

iVDR-S は、日立ハイビジョンテレビ Wooo など採用されているカートリッジハードディスクで、著作権保護技術「SAFIA(サファイア)」に対応した録画用メディアです。ペガシスの MPEG カット編集ソフトウェア「TMPGEnc MPEG Editor 3」の次期後継製品「TMPGEnc MPEG Smart Renderer 4」と「RHDM-US/EX」用の新バージョン iVDR-S Media Server 3 を組み合わせることで、パソコンの大画面とマウス操作で1フレーム単位でのカット編集をスマートに行えるようになります。

PEGASYS TMPGEnc MPEG Smart Renderer 4

ディーエムピージーエンクエムペグスマートレンダラー4



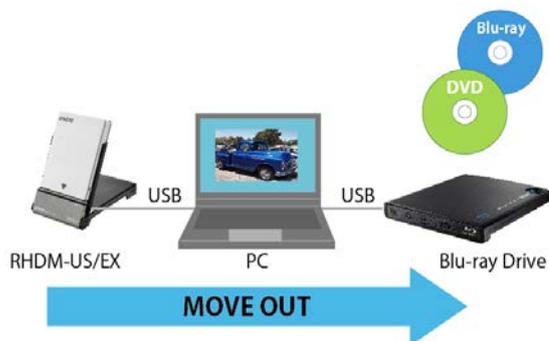
※ペガシス製「TMPGEnc MPEG Smart Renderer 4」の画面(画面は開発中のものです。予告なく変更となる場合があります)

- ・ネットワークダビング対応テレビから録画番組を iVDR-S にダビングして編集可能に
 東芝<レグザ>の USB-HDD 等に録画されたハイビジョン番組や「RECBOX」に録画されたスカパー！HD 等のハイビジョン番組を、iVDR-S にダビングし、そのままパソコンで動画編集することが可能になります。

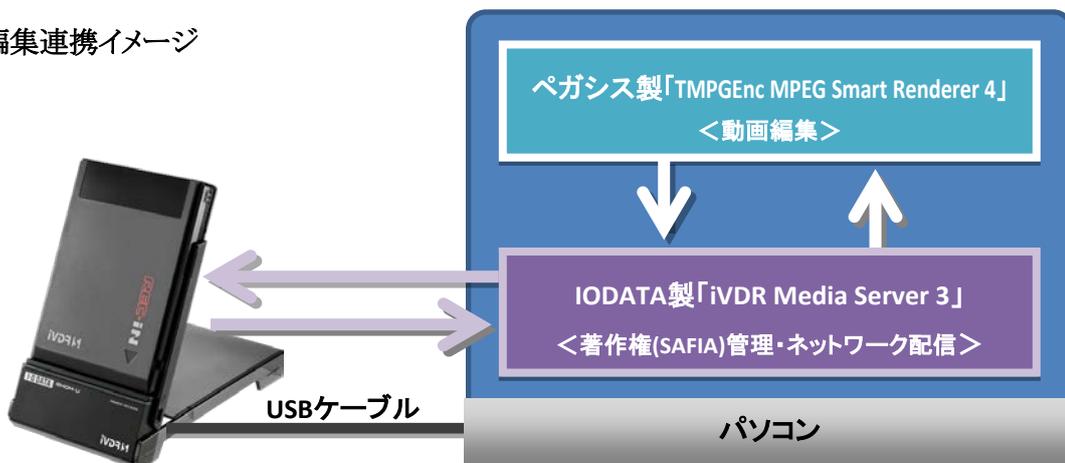
【その2：iVDR-Sの録画番組をブルーレイにムーブ】

iVDR-Sの録画番組を、弊社製ブルーレイドライブ「BRD-U8DM」「BRP-U6DM」等やハイビジョンネットワークレコーディングHDD「RECBOX」にムーブ可能。パソコンで編集した録画番組を、ブルーレイやDVDに残したり、DLNA/DTCP-IPサーバーに移動してハイビジョンライブラリーを構築することが可能です。

【RHDM-US/EX用「iVDR Media Server3」の画面】



■動画編集連携イメージ



■iVDR-Sメディアの特長

- DVD や Blu-ray Disc と比べ大容量(DVD107枚分のコンテンツを収録可能※4)。
- Serial ATA 仕様のインターフェイスにより、大容量のデータでも高速アクセスを実現。
- iVDR 対応機器の間でメーカーを問わず、保存したデータを再生することができる。
- 著作権保護技術である「SAFIA」に対応しているため、ハイビジョン番組の持ち運びが可能。
- 小型で軽量、省電力、強化プラスチックシェルを採用のため、非動作時の耐衝撃性を確保。

本発表のソフトウェア「iVDR-S Media Server 3」は、本日 5 月 31 日に開催の iVDR EXPO 2012 にて、デモンストラーションを行います。

■その他の「RHDM-UX/EX」詳細について

<http://www.iodata.jp/product/hdd/portable/rhdm-usex/>

本リリースに記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。本リリースで使用のイラストや写真はイメージです。

※1: 弊社調べ(2012年5月31日現在)

※2: Information Versatile Device for Removable usage - Secure の略。リムーバブルハードディスクの規格の1つで、録画した著作権保護付きコンテンツを録画した機器以外の対応機器で再生することができます。

※3: 「TMPGEnc MPEG Smart Renderer 4」は開発中の製品であり、正式対応時期は後日のご案内となります。

※4: 500GB の iVDR の場合。片面 1 層タイプ DVD-R4.7 GB で計算。

【本リリースに関するマスコミ問い合わせ窓口】

営業統括部 広報販推課
担当: 佐藤・渡辺
TEL: 03-6859-1054

【本製品に関するお客様の問い合わせ窓口】

インフォメーションデスク
TEL: 0120-777-618

【会社概要】

株式会社アイ・オー・データ機器
代表取締役社長: 細野 昭雄
本社: 石川県金沢市
資本金: 35 億 8,807 万円
(JASDAQ 上場、証券コード: 6916)
ホームページ <http://www.iodata.jp/>